

一般質問通告書 3月議会

令和5年3月15日

番号	件名	氏名
1	上関原発計画への国と中国電力の姿勢について	山戸孝
2	複式学級について	山戸孝
3	移住先として選んでもらうまちづくりについて	秋山鈴明
4	部活動の地域移行について	秋山鈴明
5	空き家の利活用について	清水康博

3人5件

定例会一般質問通告書

令和5年第1回上関町議会定例会（3月）

◆質問者1 山戸 孝	
質問事項	質問要旨
1. 上関原発計画への国と中国電力の姿勢について	<p>本年2月6日に西村経産大臣と面会したこと、12月定例会の一般質問を受けて中国電力からの回答を、3月定例会で報告を受けたことに関して</p> <p>①西村大臣との面会時、町長からは財政支援強化などを要望し、大臣は「原子力・エネルギーに対する長年の協力に感謝するとともに、地域の活力をどう維持していくのか要望に応えたい」と言われたとのことだが、上関原発計画の今後の動向や見通しについて大臣から言及はあったか。</p> <p>②中国電力からの回答は「現時点で着工や運転開始時期を示すことはできない」、「次世代炉への設計変更等は考えていない」、「埋め立てに先立って実施が必要な海上ボーリング調査が安全に作業できる状況となるよう取り組む」、概ねこういった内容だったが、町長の受け止めは。</p>
2. 複式学級について	<p>令和5年度の上関小学校の入学者数は5人と聞いているが、こういう状況が続けば複式学級化も視野に入れざるを得ない。すぐに複式学級になることはないようだが、学力低下になるのではないかと心配する方もいる。複式学級のメリット・デメリットを保護者等と認識を共有していくことが、今後必要になると考える。複式学級について町の考えは。</p>

◆質問者2 秋山 鈴明	
質問事項	質問要旨
1. 移住先として選んでもらうまちづくりについて	移住定住対策として、町長は移住先を探そうとしている人に対して、本町にある最も売り出したい強み、セールスポイントはどんなものと考えているか。住んでみたいと思わせるほど人の心を掴むことのできるものという視点で見たとき、どんなものがあるか。
2. 部活動の地域移行について	少子化や教職員の長時間労働が社会問題となっているなか、国の方針で中学校の部活動の地域移行が進められている。上関中学校ではソフトテニス部の地域の担い手が求められている。教育委員会の今後の方針について①ソフトテニスの見守りのシフトづくりなど事務局は誰を想定しているか。②現状、「ソフトテニス」「教育委員会が主催する文化部」「その他各種団体」の3種類を受け皿として想定していると思うが、この間の保険連携についてどのように考えるか。
◆質問者3 清水 康博	
質問事項	質問要旨
空き家の利活用について	①当町の空き家バンク制度の実績の評価、取り組みに対する評価は。 ②行政報告の中で、定住対策として町営住宅の建設について、『空き家の改修を行い活用することを検討』とあったが、具体的なビジョンは。 ③今後予想される空き家の増加、現在の空き家バンク制度の課題を解消する一つの方法として、【まだ居住者がいる家で、将来的に空き家になることが予想される住宅を事前に空き家バンクへ登録（予備登録）ができる制度】を設けてみてはどうか。空き家になる期間を短くすることによって、家の老朽化も最小限に抑えられ、需要も増えるのではないかと思うがいかがか。